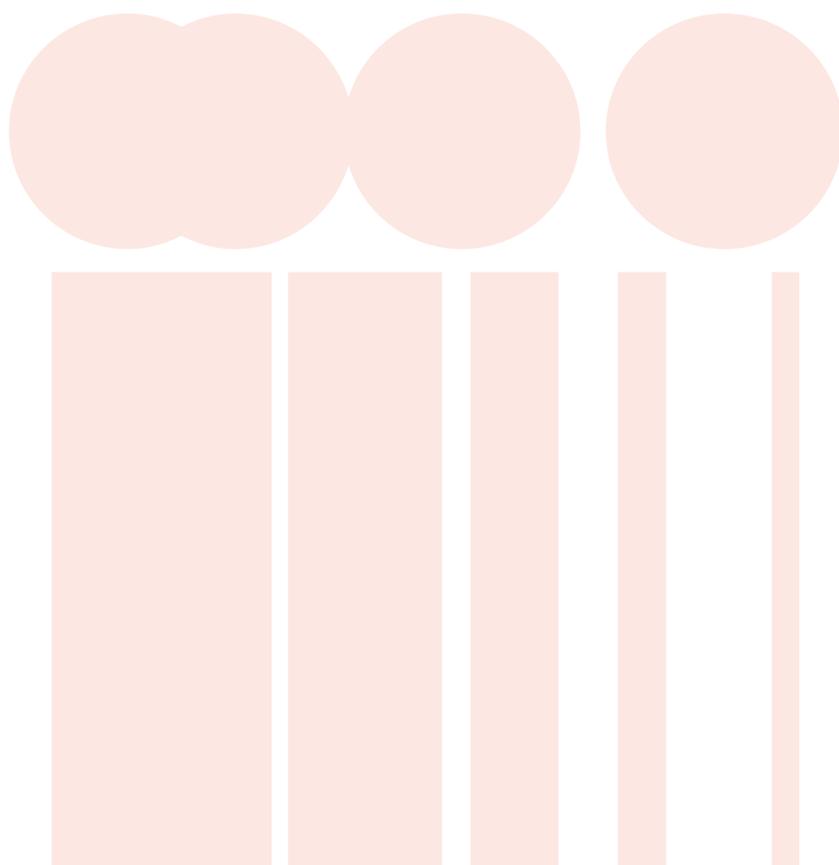


DISCLOSURE

茨城銀行の現況
IBARAKI BANK REPORT

2006

中間期



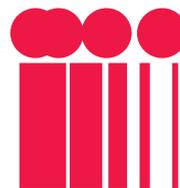
CONTENTS

| | |
|-----------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| 経営の基本方針・沿革 | 2 |
| 新長期経営計画 | 3 |
| 平成18年度中間決算について | 4 |
| 当行の考え方 | 8 |
| トピックス | 10 |
| 営業のご案内 | 13 |
| 預金業務 | 14 |
| 貸出業務 | 15 |
| 国際業務・証券業務・その他業務 | 16 |
| 各種サービスのご案内 | 17 |
| 手数料一覧 | 18 |
| ATMサービスのご案内 | 19 |
| 役員・組織図 | 20 |
| 財務・資料編 | 21 |
| 連結情報 | 22 |
| 単体情報 | 32 |
| ネットワーク | 48 |
| 銀行法施行規則に基づく開示項目 | 51 |

当行の概要

(平成18年9月30日現在)

| | |
|------------|---|
| 名 称 | 株式会社 茨城銀行 THE IBARAKI BANK,LTD |
| 創 業 設 立 | 大正10年6月9日 大正10年11月1日 |
| 本店所在地 | 〒310-0021 茨城県水戸市南町1-3-1 TEL.029(231)3171(代) |
| 資 本 金 | 155 億円 |
| 総資産残高 | 7,418 億円 |
| 預 金 残 高 | 7,072 億円 |
| 店 舗 数 | 61 店舗 |
| ATM台数 | 193 台(うちI-NET61 台) |
| 従 業 員 数 | 891 人(嘱託、臨時雇員、出向者を除いております) |
| U R L | http://www.ibagin.co.jp/ |



シンボルマークの開発意図

このマークは茨城銀行の頭文字 i とひとの姿をモチーフとして開発されました。地域社会に対し、活発にコミュニケーションを行うことによって地縁を深め、またお客さまと行員の触れ合いを大切にすることによって人縁を強めていくといった茨城銀行の積極的な地域密着の姿勢、そして未来に躍進していく姿を表現しています。

ごあいさつ

皆さまには、日頃茨城銀行グループをご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

当行は毎年、茨城銀行および茨城銀行グループの経営方針や財務状況についてご理解を深めていただくために、7月にディスクロージャー誌「茨城銀行の現況」を作成しておりましたが、今年度からは、更にご理解を深めていただくために、中間期のディスクロージャー誌についても作成致しました。



平成18年度上半期のわが国経済は、良好な景況感で推移しましたが、個人や中小企業からは景気回復の実感にとほしいとの声も聞かれております。

こうしたなか、当行は平成18年度上半期にローンセンターを4ヶ所に新設し7ヶ所にする等、お客さまの利便性向上を図りました。また、業務面においても、全期間固定金利住宅ローンの取扱いの開始や、各種預金のキャンペーンを実施する等、お客さまサービスの向上に向け努力をしてまいりました。

当行の平成18年度上半期決算は、収益確保に向け、住宅ローンの販売や有価証券運用強化に努めるとともに、投資信託販売を推進し手数料収入の増加にも力を入れた結果、銀行本来の収益力を表すコア業務純益は28億円を確保することができました。また、与信関連費用が前年同期とほぼ同水準の13億円に止まったことから、経常利益は12億円、中間純利益は11億円を計上することができました。

今後、当行は、平成18年4月に策定した「いばぎんバリューアッププラン（新長期経営計画ステージII）」に掲げた計数目標を着実に達成することにより、企業価値の向上に取組み、今後の株式上場を目指してまいります。そして、経営目標である「地域とお客さまに愛され信頼される銀行へ」の道筋を確固たるものとし、株主の皆さまのご期待にお応えできるよう役職員一致団結し努力してまいります。何とぞ今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年1月

取締役頭取 川嶋 烈

経営の基本方針・沿革

経営の基本方針

経営目標

「地域とお客さまに愛され信頼される銀行へ」

そのための行動指針

1

地域とお客さまの要望には、誠意と積極性をもって、正確、迅速に対応する。

2

「ホウ(報告)・レン(連絡)・ソウ(相談)」を実践し、明るく活気ある職場を築く。

3

地域の発展に向けて、各人の能力アップを図る。

沿革

| | | | |
|--------|----------------------------|--|-----------------|
| 大正 | 10年 6月 | 水戸市上梅香252番地に茨城無尽株式会社創立 | |
| | 13年 4月 | 本店を水戸市元白銀町152番地(現在地)に移転 | |
| | 昭和 | 27年 5月 | 株式会社茨城相互銀行に商号変更 |
| | | 39年 12月 | 現在地に本店新築 |
| | 41年 4月 | 水戸市南町1丁目3番1号に本店住居表示変更 | |
| | 50年 4月 | 両替商取扱開始 | |
| | 51年 11月 | 事務センター新築 | |
| | 52年 7月 | オンラインシステム稼働 | |
| | 56年 5月 | 外国為替業務取扱開始 | |
| | 58年 4月 | 公共債の窓口販売業務開始 | |
| 59年 9月 | 株式会社茨銀ビジネスサービスを設立(現・連結子会社) | | |
| 62年 6月 | 公共債ディーリング業務開始 | | |
| 平成 | 元年 2月 | 普通銀行に転換し株式会社茨城銀行に商号変更 | |
| | 5月 | 第Ⅱ期オンラインシステム稼働 | |
| | 7月 | いばぎん信用保証株式会社を設立(現・連結子会社) | |
| | 3年 9月 | 株式会社いばぎんミリオンカードを設立(平成14年1月、株式会社いばぎんカードと商号変更。現・連結子会社) | |
| | 8年 1月 | 信託代理店業務取扱開始 | |
| | 4月 | 集中センター新築 | |
| | 10年 1月 | ローンセンター水戸新設 | |

| | | | |
|--------|-----------------------------|----------------------------------|--|
| 平成 | 10年 9月 | ローンセンター牛久新設 | |
| | 11年 6月 | コールセンター新設 | |
| | 12年 | 9月 | 担保付社債に関する信託事業免許を取得 |
| | | 10月 | 投資信託窓口販売開始 |
| | 10月 | ローンセンター守谷新設 | |
| | 13年 | 4月 | 損害保険代理店業務開始 |
| | | 5月 | 新オンラインシステム(STAR-21)稼働 |
| | 10月 | 関東銀行、つくば銀行(現・関東つくば銀行)と包括的業務提携を締結 | |
| | 14年 | 1月 | 栃木銀行、つくば銀行(現・関東つくば銀行)、東日本銀行とATM利用手数料無料化サービスを開始 |
| | | 1月 | ATMの365日稼働開始 |
| 10月 | 個人年金保険取扱を開始 | | |
| 15年 1月 | 東京支店と綾瀬支店を統合 | | |
| 16年 | 2月 | 西原支店と大工町支店を統合 | |
| | 3月 | 中小企業金融公庫・あおぞら銀行と業務提携を締結 | |
| 6月 | 商工組合中央金庫と業務提携を締結 | | |
| 7月 | アイワイバンク銀行(現・セブン銀行)とATM提携を締結 | | |
| 17年 6月 | 経営支援部設置 | | |
| 18年 | 1月 | (株)日本M&Aセンターとの業務提携 | |
| | 7月 | ローンセンター佐貫、神栖、東海新設 | |
| 8月 | ローンセンターつくば新設 | | |

新長期経営計画 (平成16年4月～平成21年3月)

平成16年4月に策定した新長期経営計画においては、「地域とお客さまに愛され信頼される銀行へ」を経営目標とし、安定した収益基盤の確立を目指しスタートしました。その後、当行の状況は大きく変わり、また、金融機関を取り巻く環境も日銀による量的緩和策が解除され、金融行政においても金融検査評定制度の導入、新BIS規制の導入等大きく変化しております。

こうしたなか、柔軟に環境変化に対応し、株式上場を実現するために、新長期経営計画の残り3年間を「いばぎんバリューアッププラン(新長期経営計画ステージⅡ)」として平成18年4月よりスタートしました。

お客さまの様々なニーズに対応する金融サービスを提供するため、渉外人員の専門性を高めた営業体制の改革、営業店支援機能を強化するための本部体制の改革を実施し、「地域とお客さまに愛され信頼される銀行へ」の道筋を確固たるものとしてまいります。

「いばぎんバリューアッププラン」

(新長期経営計画ステージⅡ)の概要

平成18年4月～平成21年3月 3年間

| 主要施策 | | |
|----------------------|------|---|
| 営業体制の改革 | 店舗体制 | <ul style="list-style-type: none"> 市場成長力・規模・特性に応じた店舗戦略とし、効果的・効率的に経営資源配分を実施します |
| | 渉外体制 | <ul style="list-style-type: none"> 金融商品の多様化に対応するため、専門性を高めた渉外体制とします |
| 営業店支援機能強化のための本部体制の改革 | 法人部門 | <ul style="list-style-type: none"> 事業支援グループを新設しビジネスマッチングを支援します 成長地域における法人開拓を強化します 強化業種の専担者を配置します |
| | 個人部門 | <ul style="list-style-type: none"> ローンセンターを増設、機能拡大します 投信販売のアドバイザーを配置します 営業人員を増強します |

計数目標

| | | |
|-----------|---------|-----------|
| コア業務純益 | 21年3月期 | 65億円 |
| 自己資本比率 | 21年3月期 | 8%台 |
| 不良債権比率 | 21年3月期 | 6%台 |
| 貸出金強化のため | 新規企業獲得 | 年間 2,000社 |
| | 住宅ローン実行 | 年間 150億円 |
| 役務収入強化のため | 預り資産残高 | 21年3月期 |
| | | 700億円 |

株式上場を目指します

平成18年度中間決算について

資産・負債の状況

● 預金

4月から9月まで、毎月季節にあった月替わりのキャンペーンを実施しました。また、おかげさまで当行は本年6月9日をもって創業85周年を迎えたことから、85周年を記念するとともに、日ごろのご愛顧に感謝しまして、特別金利0.5%を適用する「特別記念定期」を発売し、154億14百万円の個人定期預金を獲得しました。しかし、お客さまの金利選好から投資信託等に資金が振り替ったことなどから、個人預金は当上期中に21億53百万円の増加に止まりました。一方、法人預金は、当行の主要な取引先である地域の中小企業の景況感を反映して、当上期中に92億65百万円減少しました。公金預金については、当上期中に9億35百万円増加しました。その結果、預金の中間期末残高は、当上期中に61億76百万円減少し、7,072億43百万円となりました。

● 貸出金

無担保ローンは減少しましたが、住宅ローンの実行額が102億95百万円と対前年同期比63億24百万円増加したことから、個人向けローンは上期中44億84百万円増加しました。一方、法人向け貸出は、一般企業の資金需要の弱さもあり、低調に推移しました。しかし、シンジケートローンや余資運用としての市場性貸出を増加させたことから、全体では当上期中に75億59百万円増加し、5,360億26百万円となりました。

● 預り資産（投資信託等）

お客さまの金利選好から投資信託が大きく増加し、投資信託等の預り資産残高は当上期中に97億58百万円増加し、555億6百万円となりました。

■ 預金・貸出金等の推移



損益の状況

● 単体

収益の確保に向け、住宅ローンの販売や有価証券の運用強化に努めるとともに、投資信託の販売を推進し手数料収入の増強にも力を入れました。また、物件費をはじめとした経費の削減に全行をあげて取り組みました。この結果中間純利益は11億6百万円となりました。

● 連結

銀行単体の決算が中間純利益11億6百万円と好調だったことから、連結ベースでも経常利益12億7百万円、中間純利益10億60百万円を計上することができました。

■ 損益の推移（単体）



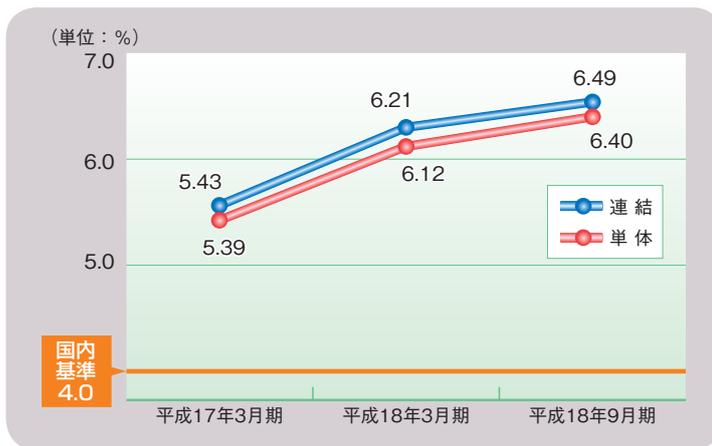
◆ コア業務純益

コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金への繰入額と国債等債券の売却損益等を除いた利益です。この利益により銀行本来の収益力がわかります。

自己資本比率(国内基準)の状況

■ 自己資本比率(単体・連結)の推移

当中間期は、中間純利益を11億6百万円計上できたことから、単体自己資本比率は平成18年3月末比較で0.28ポイント上昇の6.40%となりました。また、連結自己資本比率は平成18年3月末比較で0.28ポイント上昇の6.49%となりました。



(単位：百万円)

| | 単 体 | 連 結 |
|------------|---------|---------|
| 自己資本額 ① | 25,163 | 25,514 |
| 基本的項目 | 17,955 | 18,306 |
| リスクアセット ② | 393,023 | 393,068 |
| 自己資本比率 ①÷② | 6.40% | 6.49% |

◆ リスクアセット

自己資本比率を算出する上で分母となる資産です。貸出金等の資産にリスクの割合に応じて決められた率を乗じて算出します。

利益配分に関する基本方針

当行は、銀行業の公共性に鑑み、お客さまや地域社会の信頼にお応えするため健全経営確保の観点から内部留保の充実に配慮しつつ、長期的に安定した配当の継続を基本方針としております。また、内部留保につきましては、多様化するお客さまのニーズにお応えし、営業基盤を拡充するために、有効な投資に活用してまいります。

平成18年度中間決算におきましては、与信関連費用の減少等により中間純利益を確保する

ことができました。しかしながら、今後当行が、より地域とお客さまに愛され信頼される銀行となるためには、安定した財務基盤を確立することが、現状の最優先課題と考えております。こうしたことから、誠に申し訳ございませんが、平成18年度中間期の配当を見送らざるを得ない状況となりました。

なお、平成18年度の期末配当につきましては、損益の状況や財務基盤の状況を総合的に勘案して検討してまいります。

平成18年度中間決算について

破綻先

法的・形式的な経営破綻の事実が発生している債務者。

実質破綻先

法的・形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、実質的に経営破綻に陥っている債務者。

破綻懸念先

現状は経営破綻の状況にはないが、経営難の状態にあり、今後経営破綻に陥る可能性の高い債務者。

要注意先

今後の管理に注意を要する債務者。

要管理先

要注意先と区分された債務者のうち、要管理債権を有する債務者。

正常先

業況が良好であり、かつ財務内容にも特段の問題がないと認められる債務者。

リスク管理債権

銀行法に基づき開示している貸出金で、「破綻先債権」、「延滞債権」、「3ヵ月以上延滞債権」、「貸出条件緩和債権」の総称。

破綻先債権

自己査定において「破綻先」と区分された債務者に対する貸出金。

延滞債権

自己査定において「実質破綻先」または「破綻懸念先」と区分された債務者に対する貸出金。

3ヵ月以上延滞債権

自己査定において「要注意先」と区分された債務者に対する貸出金で、元金または利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出金。

貸出条件緩和債権

自己査定において要注意先と区分された債務者に対する貸出金で、経済的困難に陥った債務者の再建・支援を図ることを目的として、債務者にとって有利となる条件変更を行った貸出金。

自己査定と償却・引当基準について

当行では、正確な財務諸表を作成するため、厳正な自己査定を実施し、適正な償却・引当を行っています。

自己査定では、貸出金等の債権をその債務者の状況により「正常先」、「要注意先」、「破綻懸念先」、「実質破綻先」、「破綻先」の5つの区分に分けます。次に、それぞれの債権を回収の危険性や価値が毀損する危険性の度合に応じ4つの区分に分類します。

この査定結果に基づき、「破綻先」、「実質破綻先」については、Ⅲ、Ⅳ分類の全額を引当てています。「破綻懸念先」については、そのⅢ分類に対し、また、「正常先」、「要注意先」についてはその債権額に対し、過去の一定期間の貸倒実績から算出した今

後の一定期間の予想損失率を乗じた金額を引当てています。

自己査定と償却・引当の関係は以下のようになります。

| 債務者区分 | 非分類 | Ⅱ分類 | Ⅲ分類 | Ⅳ分類 |
|-------|-----------------------------|-----|---------|------|
| 正常先 | 0.123% | | | |
| 要注意先 | 要注意先 2.228% 要管理先 23.333% | | | |
| 破綻懸念先 | | | 68.830% | |
| 実質破綻先 | | | | 全額引当 |
| 破綻先 | | | | 全額引当 |

※ 色の部分は、一般貸倒引当金です。率は平成18年度中間期の引当率です。

資産の健全化に向けた取組み

資産内容を一層健全化する観点から、前年度までに十分な貸倒引当金を予防的に引当てていたことから、個別貸倒引当金繰入額が前年同期比10億97百万円減少し7億49百万円に、貸出金償却は同2億2百万円増加し3億32百万

円になりました。一方、延滞債権等売却損は同5百万円の減少となっております。この結果、不良債権処理額は同9億円減少し10億82百万円となりました。

不良債権処理額

(単位：百万円)

| | 平成17年度 中間期 | 平成18年度 中間期 | 増減額 |
|-----------|------------|------------|--------|
| 個別貸倒引当金繰入 | 1,847 | 749 | △1,097 |
| 貸出金償却 | 130 | 332 | 202 |
| 債権売却損 | 5 | 0 | △5 |
| 合計 | 1,982 | 1,082 | △900 |

不良債権の状況

銀行法に基づくリスク管理債権額は前年同期比55億92百万円減少し536億94百万円となり、貸出金に占める割合も1.09ポイント低下の10.01%となりました。

金融再生法開示債権額は、前年同期比55億48百万円減少し539億64百万円となりまし

た。これは、不良債権の最終処理を進めたことにより破産更生債権及びこれらに準ずる債権が減少したことを主因としたものです。総与信に占める割合は、前年同期比で1.08ポイント低下し9.99%となりました。

リスク管理債権(単体)

(単位：百万円)

| | 平成17年9月末 | 平成18年9月末 | 増減 |
|------------|----------|----------|--------|
| 破綻先債権額 | 4,686 | 5,586 | 900 |
| 延滞債権額 | 37,812 | 33,588 | △4,224 |
| 3ヵ月以上延滞債権額 | 316 | 370 | 54 |
| 貸出条件緩和債権額 | 16,471 | 14,148 | △2,323 |
| 合計 | 59,286 | 53,694 | △5,592 |
| 貸出金に占める割合 | 11.10% | 10.01% | △1.09% |

■ 金融再生法に基づく開示債権額(単体)

(単位：百万円)

| | 平成17年9月末 | 平成18年9月末 | 増 減 |
|-------------------|----------|----------|--------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 22,734 | 18,146 | △4,588 |
| 危険債権 | 19,990 | 21,299 | 1,309 |
| 要管理債権 | 16,787 | 14,519 | △2,268 |
| ①合計 | 59,512 | 53,964 | △5,548 |
| ②貸倒引当金及び担保等による保全額 | 52,876 | 47,445 | △5,431 |
| 保全率②/① | 88.84% | 87.91% | △0.93% |

■ 不良債権比率(金融再生法ベース)

(単位：億円)

| | 17年9月末 | 18年3月末 | 18年9月末 |
|-------------------|--------|--------|--------|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 227 | 176 | 181 |
| 危険債権 | 199 | 260 | 212 |
| 要管理債権 | 167 | 167 | 145 |
| 合計 | 595 | 604 | 539 |
| 不良債権比率 | 11.07% | 11.35% | 9.99% |

■ 自己査定と金融再生法に基づく開示債権及びリスク管理債権

(単位：百万円)

| 自己査定 債務者区分 (与信額) | 金融再生法に基づく 開示債権 (与信額) | 引当・保全状況 (金融再生法基準) | 銀行法上の リスク管理債権 (貸出金) |
|---------------------------|---------------------------------------|---|---------------------------|
| 破綻先 5,629 | 破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 18,146 | 破産更生債権額 18,146 | 破綻先債権 5,586 |
| 実質破綻先 12,517 | | 担保・保証等 14,277 | |
| | 危険債権 21,299 | 信用部分 3,868 | 延滞債権 33,588 |
| | | 引当率(注1) 100% | |
| | 要管理債権 14,519 | 引当額 3,868 | 3ヵ月以上延滞債権 370 |
| | | カバー率(注2) 100% | |
| 破綻懸念先 21,299 | 開示額合計 53,964 | 危険債権額 21,299 | 貸出条件緩和債権 14,148 |
| | | 担保・保証等 13,460 | |
| | 開示債権比率9.99% | 信用部分 7,838 | 開示額合計 53,694 |
| | | 引当率(注1) 68.83% | |
| | 正常債権 485,789 | 引当額 5,394 | 開示債権比率 10.01% |
| | | カバー率(注2) 88.52% | |
| 要留意先 92,381 | 合計 539,754 | 要管理債権額 14,519 | 非開示債権 482,332 |
| | | 担保・保証等 6,202 | |
| | 合計 539,754 | 信用部分 8,316 | 合計 536,026 |
| | | 引当率(注1) 50.99% | |
| 要管理先 17,353 | 総体カバー率 87.91% | 引当額 4,241 | 非開示債権 482,332 |
| | | カバー率(注2) 71.93% | |
| 要管理先以外 の要留意先 75,028 | 正常先・要留意先 (要管理債権を除く) 貸倒引当金 3,691 | 総体カバー率 87.91% | 非開示債権 482,332 |
| | | 開示債権比率 10.01% | |
| 正常先 407,926 | 合計 539,754 | 正當先・要留意先 (要管理債権を除く) 貸倒引当金 3,691 | 非開示債権 482,332 |
| | | 開示債権比率 10.01% | |
| 合計 539,754 | 合計 539,754 | [合計] 一般貸倒引当金 6,997 個別貸倒引当金 10,199 | 合計 536,026 |

(注1) 引当率とは、信用部分に対して引当てる比率のことです。

(注2) カバー率とは、全体の債権額に対して担保・保証・引当等にて保全されている比率のことです。

| | 金融再生法に基づく開示債権 | 銀行法上のリスク管理債権 |
|------|---|--|
| 対象債権 | 貸出金、貸付有価証券、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返 | 貸出金 |
| 開示基準 | 自己査定をベースとし、債務者単位で開示しております。(但し、「要管理債権」については債権単位です) | 自己査定をベースとし、「破綻先債権」、「延滞債権」は、債務者単位で、「3ヵ月以上延滞債権」、「貸出条件緩和債権」は、債権単位で開示しております。 |

◆ 金融再生法開示債権

金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則に基づく債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」、「正常債権」の4つがある。

◆ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

自己査定において破綻先又は実質破綻先と区分された債務者に対する債権。

◆ 危険債権

自己査定において破綻懸念先と区分された債務者に対する債権。

◆ 要管理債権

自己査定において要留意先と区分された債務者に対する貸出金で、3ヵ月以上延滞している貸出金、または、貸出条件の緩和を行っている貸出金。

◆ 正常債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」に該当しない債権。

当行の考え方

預金保険制度

「預金保険制度」とは、金融機関が預金等の払戻しができなくなった場合などに、預金者等を保護し、また資金決済の確保をはかることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度です。

◎ 対象預金等

預金、定期積金、掛金、元本補てん契約のある金銭信託（貸付信託を含む）、金融債（保護預り専用商品に限る）及びこれらの預金等を用いた積立・財形貯蓄商品、確定拠出年金の積立金の運用に係る預金等

◎ 預金等の保護の範囲

| 預金等の分類 | | 保護の範囲 |
|----------------|-----------|--|
| 対象預金保険の ※1 | 決 済 用 預 金 | 当座預金 利息のつかない普通預金等 |
| | 一 般 預 金 等 | 利息のつく普通預金・定期預金・定期積金・元本補てんのある金銭信託（ビッグなど）等 |
| 預金保険の対象外預金等 ※2 | | 外貨預金、元本補てんのない金銭信託（ヒットなど）、金融債（保護預り専用商品以外のもの）等 |
| | | 全額保護（恒久措置） |
| | | 合算して元本1,000万円までとその利息を保護 ※3 |
| | | 保護対象外 ※4 |

- ※1 預金保険の対象となっている預金等は次のとおりです。
[当座預金、普通預金、別段預金、定期預金、通知預金、納税準備預金、貯蓄預金、定期積金、掛金、元本補てん契約のある金銭信託（ビッグ等の貸付信託を含む）、金融債（ワイド等の保護預り専用商品に限る）、前記を用いた積立・財形貯蓄商品]
- ※2 預金保険の対象となっていない預金等は次のとおりです。
[外貨預金、譲渡性預金、オフショア預金、日本銀行からの預金（国庫金を除く）、金融機関からの預金（確定拠出年金の積立金の運用部分を除く）、預金保険機構からの預金、無記名預金、他人・架空名義預金、導入預金、元本補てん契約のない金銭信託（ヒット等）、金融債（保護預り専用商品以外のもの）]
- ※3 1,000万円を超える部分であっても破たんした金融機関の財産の状況に応じて支払われます（一部カットされる場合があります。）
- ※4 保護されない預金等であっても破たんした金融機関の財産の状況に応じて支払われます（一部カットされる場合があります。）

このように、万一の場合に備え、お客さまの預金等を守るための預金保険制度が整備されております。しかし、お客さまに安心して預金をお預け頂くためには、銀行の財務内容が健全であることが最も重要だと考えております。

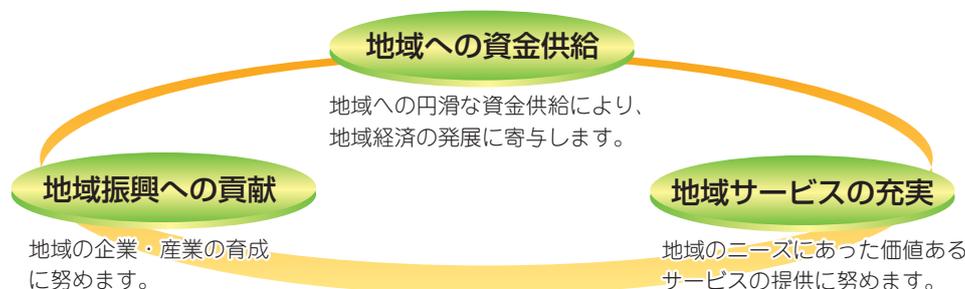
当行は、これからもお客さまにより安心して預金をお預けいただける銀行となるために努力してまいります。

地域貢献の基本方針

当行は、「地域とお客さまに愛され信頼される銀行へ」を経営目標に掲げ、銀行業を通じて地域の発展に寄与するとともに、地域社会の良き一員として、積極的にその責任を果たしてまいります。

本業での地域貢献

- ◎ 銀行業の特性を活かし、右のような地域貢献を行ってまいります。



本業以外での地域貢献（社会貢献）

地域社会の一員として、社会的役割と責任を自覚し、環境、教育、芸術・文化、社会福祉、スポーツ等の各分野において積極的な社会貢献を行ってまいります。

また、当行の役職員一人ひとりが積極的に社会貢献活動に参加できるようにサポートしてまいります。

「地域密着型金融推進計画の進捗状況について」

(平成17年4月～平成18年9月)

1 全体的な進捗状況およびそれに対する評価

当行は、地域社会での金融の円滑化に対する使命を果たしつつ、安定的収益基盤を確立し、地域の発展とともに成長していくことをめざし、平成17年8月に定めた「地域密着型金融推進計画」に基づき、特に中小企業金融の円滑化に向けた取組みのほか、経営力の強化に向け、収益力の向上と法令等遵守態勢の強化に重点をおいて取り組んでいます。

平成18年上期には、経営支援先に対する経営改善・再生支援への取組みを強化するため、平成18年7月におおぞら銀行とアドバイザー契約を締結し、それに基づき人材を招聘し、担当部である経営支援部の増員・強化を図りました。また、取引先企業に対して総合的な支援業務を展開するため、会員制総

合経営支援サービスである「いばぎん ふれい倶楽部」を発足しました。

また、無担保融資商品を中心とした地元中小企業向け融資については、引続き積極的に取り組みました。

今後も、取引先企業への総合的な支援機能の充実にに向けた施策の展開とお客さまのニーズに的確に応えるための行内体制の一層の整備を図り、公表数値目標に掲げている4項目（ビジネス情報新規登録数、ビジネスマッチング成約数、経営改善支援先数、債務者区分良化先数）についても達成できるように取り組んでまいります。

2 目標とする経営指標の達成状況 (平成17年4月～平成18年9月)

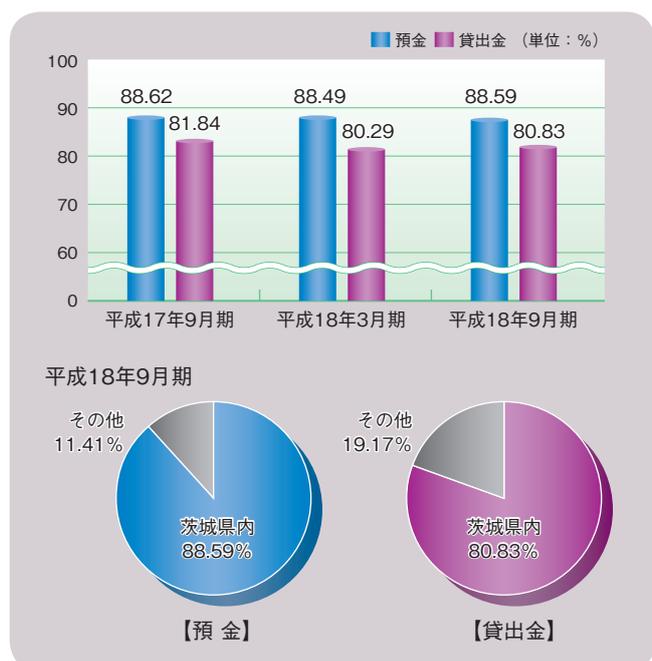
| 項目 | 経営指標等 | 目標計数 (平成19年3月末) | 実績 (平成18年9月末) |
|-----------------------|------------------------|--------------------|------------------|
| 取引先企業に対する経営相談・支援機能 | ビジネス情報新規登録数 | 400件 | 129件 |
| | ビジネスマッチング成約数 | 45件 | 19件 |
| 要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組み | 経営改善支援先 | 300先 | 351先 |
| | 債務者区分良化先 (ランクアップ先数) | 55先 | 42先 |

預金・貸出金に占める茨城県内の割合

平成18年9月末の預金・貸出金に占める茨城県内の割合は、預金が88.59%、貸出金が80.83%となりました。平成18年3月末に比べ、預金は0.1ポイント、貸出金は0.54ポイント増加しています。

地域振興への貢献

当行は、地域の企業育成のために茨城県及び中小企業基盤整備機構が組成した「いばらきベンチャー企業育成ファンド」や、地域の中小企業を対象とした企業再生ファンドの「茨城いきいきファンド」に出資することにより、地域経済の活性化や地域振興に貢献してまいります。



◻ 地域貢献活動

いばぎん 野球教室の開催

平成 18 年 4 月 8 日 いばぎん健保総合グラウンドにおいて、第 8 回「いばぎん野球教室」を開催しました。当日は、少年野球チームのメンバー約 80 名が参加し、バッティングやグラブの使い方など基本技術を学びました。



特別養護 老人ホーム訪問

新入行員研修の一環として、昭和 53 年より特別養護老人ホーム「西山苑」（常陸太田市）で奉仕活動を行っております。平成 18 年 4 月には 66 名の新入行員が参加し、清掃活動や車椅子の体験等を行いました。当行ではお年寄りとのふれあいを通して、やさしい心、人をいたわる心をもった人材の育成を目指しております。



各種相談会の実施

年金に関する様々なご質問に、社会保険労務士がわかりやすくお答えする「年金相談会」や、休日にゆっくり相談できる「休日お客さま相談会」を開催しております。平成 18 年度上期の開催状況は右表のとおりで、619 名のお客さまにご来店いただきました。

| 相 談 会 | 開催回数 | 相談人数 |
|-----------|------|------|
| 年 金 相 談 会 | 36回 | 309名 |
| 休日お客さま相談会 | 55回 | 310名 |

清掃ボランティア

新入行員の研修時や、本店行員による朝の清掃ボランティアとして、本店周辺の清掃活動を行っております。また、支店においては、地域の清掃活動に参加するなど、身近な清掃ボランティアへの参加を心がけております。

地域行事への参加

地域の行事に積極的に参加しております。平成 18 年度上期は、「水戸黄門まつり」などの行事への参加協力を通じて、地域の皆さまとの交流を深めております。



企業体験学習の受入

地域の教育活動に積極的に協力しております。中学生の「職場訪問・体験学習」を受入し、日々の銀行業務を体験していただくとともに、働くことの尊さ等多くのことを学んでいただいております。



◻ 主な出来事

「お客さま説明会」 を5地区で開催

平成 18 年 5 月 23 日から 6 月 2 日の期間に、IR 活動の一環として「お客さま説明会」を開催いたしました。水戸・土浦・日立・鹿嶋・小山の 5 地区で開催し、合計 284 名のお客さまに参加していただきました。



ローンセンター の新設

住宅ローン・各種個人ローン・資産運用・年金の相談等を受付するローンセンターを、平成 18 年 7 月から 8 月にかけて、佐貫・神栖・東海・つくばの合計 4 ヶ所に新設いたしました。新設ローンセンターは土曜日も営業し、お客さまへのサービス向上に役立てております。

「いばらき産業大県フェア」 に出展

平成 18 年 7 月 13・14 日に、東京ビッグサイトで開催された「いばらき産業大県フェア」に経営者クラブや遠隔相談システムの展示ブースを出展いたしました。

当フェアには茨城県内企業を中心に約 200 社以上が出展し、2 日間で 1 万 4 千人以上のお客さまがご来場しました。



会員制総合経営支援サービス 「いばぎんふれ^{あい}倶楽部」の発足

取引先企業に対する経営相談・支援機能強化の一環として、平成 18 年 10 月 1 日より有料会員制総合経営支援サービス「いばぎんふれ^{あい}倶楽部」を発足しました。現在、提供サービスとしてインターネット上で専門家が回答する経営相談室「いばぎんビジパ」やビジネス情報の発信を行っておりますが、今後は、新たなサービスとして、ビジネス交流会や経営者セミナー・講演会の開催を予定しております。



◇ 新商品・新サービス

住宅ローンの商品充実

住宅ローンにおけるお客さまへのサービス向上として、平成18年4月3日から9月29日まで「全期間固定金利特別優遇キャンペーン」を実施いたしました。また、平成18年10月2日より全期間固定金利型住宅ローン及び「三大疾病特約付団信」による住宅ローンの取り扱いを開始いたしました。

「“月替わり”金利上乗せキャンペーン」の実施

平成18年4月10日から9月29日まで、「“月替わり”金利上乗せキャンペーン」を実施いたしました。キャンペーン期間中は、月替わりで6パターンの金利上乗せ定期を発売いたしました。

| | | | |
|----|------------|----|--------|
| 4月 | ベースボール定期 | 7月 | サッカー定期 |
| 5月 | 母の日定期 | 8月 | ナンバー定期 |
| 6月 | 創立85周年記念定期 | 9月 | 秋の七草定期 |



創立85周年「特別記念定期」の発売

平成18年6月9日をもって、おかげさまで創立85周年を迎えました。85周年を記念して、平成18年6月9日から7月31日まで、特別金利0.5%を適用する「特別記念定期」を発売いたしました。



金融犯罪防止への対応

平成18年9月より、一部のATMに金融犯罪防止のための機能を追加いたしました。

- **ご利用明細票の口座番号マスク印字対応**
 - ★ ご利用明細票の口座番号の先頭4桁目から3桁をアスタリスク(*印)に置き換えて印字しております。 ※郵貯カードとキャッシングは対象外です。
- **暗証番号配列のシャッフル対応**
 - ★ 暗証番号入力画面を表示する際、0～9の数字配列キーをお取引の度に並び替え(シャッフル)して表示しております。

投資信託商品の充実

お客さまの金利選好に應えるため、平成18年度上期は以下の3商品を追加いたしました。

- 「DKA6資産バランスファンド(愛称:六花選)」
- 「ダイワ好配当日本株投信(愛称:季節点描)」
- 「DKAインデックス参照ファンド06-09(愛称:ミルクィウェイ14)」



DISCLOSURE

茨城銀行の現況
IBARAKI BANK REPORT

2006

中間期

営業のご案内

| | |
|-----------------|----|
| 預金業務 | 14 |
| 貸出業務 | 15 |
| 国際業務・証券業務・その他業務 | 16 |
| 各種サービス | 17 |
| 手数料一覧 | 18 |
| ATMサービスのご案内 | 19 |
| 役員・組織図 | 20 |

◆ 預金業務

◎ 預金商品のご案内

当行では、毎日の暮らしや将来の生活設計に役立つような各種預金を取り揃え、お客さまのニーズにお応えできるよう努めております。

平成19年1月4日現在

| 預金の種類 | 特 色 | 期 間 | お預け入れ額 |
|-------------------|---|--|------------------------|
| 総 合 口 座 | 普通預金に定期預金をセットすることにより自動融資が受けられる口座です。貯める、支払う、受け取る、借りるの機能が1冊の通帳にセットされています。 | | |
| 普 通 預 金 | 公共料金の自動支払い、年金、給与、配当金の受け取りなどにご利用できます。 | 出し入れ自由 | 1円以上 |
| 期日指定定期預金 | 自動融資がセットされていますので、残高の90% (最高300万円) まで融資が受けられます。 | 最長3年 (据置期間1年) | 10,000円以上 |
| ス ー パ ー 定 期 | | 1カ月以上5年以内 | 1,000万円以上 |
| 大 口 定 期 預 金 | | | 10,000円以上 |
| 変動金利定期預金 | | 1年、2年、3年 (複利型は3年のみ) | 10,000円以上 |
| 利息分割受取型定期預金 | | 1年、2年、3年、4年、5年 | |
| 積立定期預金ワンダフル | | 6カ月以上5年以内の満期日指定型とエンドレス型があります。 | |
| スーパー総合口座 | 総合口座の機能に貯蓄預金をセットした更に便利な口座です。 | | |
| 普 通 預 金 | いつでも出し入れ自由の預金です。公共料金やクレジット代金の自動支払い、年金、給与、配当金の自動受け取りなどにご利用できます。 | 出し入れ自由 | 1円以上 |
| 決済用普通預金 | 預金保険制度において全額保護される普通預金です。ただし、お利息は付きません。 | 出し入れ自由 | 1円以上 |
| 貯 蓄 預 金 | 預金残高により、10万円以上、30万円以上、50万円以上、100万円以上、300万円以上と5段階に分け、当行所定利率が適用され、お利息は毎月お受け取りになれます。 | 出し入れ自由 | 1円以上 |
| 当 座 預 金 | 小切手、手形のお支払いのための預金です。振込金の受け取りや公共料金などの自動支払いにもご利用できます。 | 出し入れ自由 | 1円以上 |
| 通 知 預 金 | まとまったお金を短期間預けるのに適した預金です。 | 7日以上 | 50,000円以上 |
| 定 期 預 金 | 金融市場の金利動向に応じて金利が決められる預金です。 | | |
| 期日指定定期預金 | 1年複利型の定期預金です。1カ月前の払い出し通知があれば1年の据置き期間後は一部または全額の払い出しができる便利な預金です。 | 最長3年 (据置期間1年) | 100円以上 |
| ス ー パ ー 定 期 | お預け入れ額が、100円以上の自由金利型定期預金です。3・4・5年ものは個人の場合半年複利型ですので好利回りです。 | 定型方式 (1カ月、3カ月、6カ月、1年、2年、3年、4年、5年) と1カ月超5年未満で自由に期間が設定できる満期日指定方式があります。 | 1,000万円以上 |
| 大 口 定 期 預 金 | お預け入れ額が、1,000万円以上の自由金利型定期預金で市場金利動向に応じて金利が決められる商品です。 | | 100円以上 |
| 変動金利定期預金 | 6カ月毎に適用金利の見直しがあります。特に半年複利の3年もの (個人限定) は、課税繰延が認められます。 | | 10,000円以上 |
| 利息分割受取型定期預金 | 一定のサイクル (1カ月、2カ月、3カ月、6カ月) でお利息を受け取る商品です。 | 1年、2年、3年、4年、5年 | 10,000円以上 |
| 積立定期預金ワンダフル | 毎月・隔月積み立て、随時積み立ての他、年2回まで増額積み立ての指定ができます。(普通預金から自動振替ができます。) | 6カ月以上5年以内の満期日指定型とエンドレス型があります。 | |
| 財 形 預 金 | 毎月の給料から一定額を天引きで積み立てる定期預金です。 | | |
| 一 般 財 形 預 金 | 結婚資金、教育資金などの積み立てに便利です。預金の一部引き出しもできます。 | 3年以上 | 原則として 1,000円以上 |
| 財 形 年 金 預 金 | 年金受け取り方式の財形預金です。 | 5年以上 | |
| 財 形 住 宅 預 金 | マイホームの取得、ご自宅の増改築を目的とした財形預金です。財形年金預金と合わせて550万円 (元加利息を含む) まで非課税で積み立てできます。 | | |
| 定 期 積 金 | ご契約時に積み立て目標額と期間を決め、毎月一定額を積み立てます。月々の少額余裕資金を計画的に大きく育てる預金です。(普通預金から自動振替ができます。) | 6カ月、1年、2年、3年、4年、5年 | 1回5,000円以上 1,000円単位 |
| オープンドル定期預金 | 米ドルで預け入れる定期預金です。原則として為替予約はできません。金額と期間によって金利が異なります。 | 1カ月、3カ月、6カ月、12カ月 | 2,000米ドル以上 |

◆ 貸出業務

◎各種ローンのご案内

当行では、事業運営から暮らしに役立つ各種ローンまで、
お客さまのニーズにお応えできる数々の商品をご用意しております。

平成19年1月4日現在

| ローンの種類 | お使いみち | ご融資金額 | ご融資期間 | 担保 | |
|------------------------|--|-------------------------|-------------------|--------------------------|-----------|
| ● 住まいづくりに関するローン | | | | | |
| 住宅ローン | 住宅建築を目的とした土地・住宅の新築・増改築・建売住宅・マンション・中古住宅の購入資金にご利用いただけます。 | 6,000万円まで | 35年以内 | 融資対象の不動産 | |
| アパートローン | アパート・賃貸住宅の新築・増改築資金などにご利用いただけます。金利は「3年固定」「5年固定」「変動」から自由にご選択になれます。 | 2億円まで | 30年以内 | | |
| リフォームローン | 住宅の増改築、内装・外装の工事資金にご利用いただけます。 | 700万円まで | 原則15年以内 | 必要ありません | |
| 借換専用無担保ローン | 住宅資金借入れの借り換えにご利用いただけます。 | 700万円まで | 10年以内 | | |
| ● 夢を育てるフリーローン | | | | | |
| ぴったりフィットローンⅡ型 | 個人の健全な生活に必要とする資金なら、お使いみち自由で、いろいろな資金にご利用いただけます。 | 200万円まで | 6カ月以上5年以内 | 必要ありません | |
| プラスワンカードローン | | 30万円まで | 2年 (原則として自動更新) | | |
| AIカードローン | | 90万円まで | | | |
| ふれあいライフローン | | 2,000万円まで | 30年以内 | 住居用不動産 | |
| ● 暮らしを育む目的ローン | | | | | |
| オートローン | 自動車購入資金にご利用いただけます。 | 500万円まで | 7年以内 | 必要ありません | |
| 教育ローン「親ゴコロ」 | 高校・大学・各種専門学校の入学または在学に伴う資金にご利用いただけます。 | 500万円まで | 最長12年6カ月 | | |
| ● 事業に関するローン | | | | | |
| パワフルサポート | 事業資金にご利用いただけます。 | 3,000万円まで | 3年以内 | 必要ありません | |
| スーパーi80 | | 5,000万円まで | 5年以内 | 必要ありません | |
| 元気宣言100 | | 1億円まで | 10年以内 | 必要ありません | |
| イメージ | | 5億6,000万円まで | 15年以内 | 原則必要ありません | |
| 当貸プライム | | 5,000万円まで | 2年以内 | 必要ありません | |
| 無担保当貸5000 | | 5,000万円まで | 2年以内 | 必要ありません | |
| ビジネスローン | | 2,000万円まで | 5年以内 | 必要に応じ、不動産または有価証券 | |
| 事業者カードローン | | 事業資金をカードローンにてご利用いただけます。 | 2,000万円まで | 2年以内 | 原則必要ありません |
| クイックパッケージ | | 事業資金にご利用いただけます。 | 500万円まで | 証書貸付 5年以内 カードローン 1年以内 | 必要ありません |

【商品利用にあたっての留意事項】

各種ローン等のご利用に際しては、ご契約上の規定、ご返済方法(返済日、返済額など)、ご利用限度額、現在のご利用額、金利変動ルール等に充分ご留意ください。また、上記ローンのほか、企業向けには手形割引・手形貸付・証書貸付などによる融資、政府機関や地方公共団体などの代理貸付や各種制度融資もお取り扱いしております。ご相談は本支店窓口にて承っておりますのでお気軽にご相談ください。

◆ 国際業務・証券業務・その他業務

◎ 国際業務のご案内

当行では、時代のニーズに応えるために輸出入など貿易取引をはじめ、海外送金、外貨両替、外貨預金業務などを行っております。

平成19年1月4日現在

| 取扱業務 | 内容 |
|----------|---|
| 輸出関係 | 輸出信用状の通知や輸出手形の買取・取立などを取扱っております。 |
| 輸入関係 | 輸入信用状(L/C)の開設、輸入ユーザンスなどを取扱っております。 |
| 外国送金 | 電信による外国送金や送金小切手の発行を取扱っております。 |
| 外貨両替 | 外国通貨(米ドル)の両替、および旅行小切手(米ドル)の販売・買取を取扱っております。また、外国通貨および旅行小切手をご指定の場所にお届けする外貨宅配サービスもございます。 |
| 外貨預金 | 外貨(米ドル)建預金を取扱っております。普通預金、定期預金がございます。 |
| インパクトローン | 外貨(米ドル)建によるご融資をいたします。 |
| 為替予約 | 為替リスクを回避する手段として、輸出入取引などにご利用いただけます。 |
| その他のサービス | 貿易等に関するさまざまなご相談も承ります。 |

◎ 証券業務のご案内

当行では、投資信託の販売、公共債の窓口販売ならびにディーリング業務などを取扱いお客さまの資産運用ニーズに幅広くお応えしております。

平成19年1月4日現在

| 取扱業務 | 内容 |
|----------|---|
| 投資信託の販売 | お客さまの資産運用ニーズに幅広くお応えできるよう、様々なタイプの商品を取扱っております。 |
| 公共債の窓口販売 | 新規発行される公共債(国債・地方債・政府保証債)の募集を当行本支店で取扱っております。 |
| ディーリング業務 | 既に発行された公共債の売買を取扱っております。 |
| 引受業務 | 国、地方公共団体、公社公団が発行する債券を引き受け、これらの団体の資金調達に協力しております。 |

◎ その他業務のご案内

当行では、金融サービスの一層の充実を図るため、下記の業務も行っております。

平成19年1月4日現在

| 取扱業務 | 内容 |
|---------------------------|--|
| ビジネスマッチング業務 | 当行のネットワーク、ビジネス交流会等を活用して、新たな販売先や仕入先・アウトソーシング先等をご紹介します。売上拡大やコスト削減等に繋がるようサポートいたします。 |
| M & A 業務 | お客さまの経営強化・事業承継の手段であるM&A(企業の譲渡、買収、合併、事業譲渡、事業譲受、資本提携、業務提携およびこれらに類する取引)が円滑に行われるようにサポートいたします。 |
| 天候デリバティブ媒介業務 | 天候不順や異常気象等により企業が被る損失を回避する「天候デリバティブ」の媒介を行っております。 |
| 個人型確定拠出年金受付業務 | 新たな年金制度として取扱いが開始された「個人型確定拠出年金」の受付業務を行っております。 |
| 生命保険代理店業務 | お客さまの老後資金準備のスタンスやリスク許容度に応じて、年金保険を品揃えしております。 |
| 損害保険代理店業務 | 住宅ローン関連の長期火災保険を取扱っております。一般の火災保険に比べて、団体扱いのため保険料が割引されています。 |
| 信託代理店業務 | 企業の退職金制度・年金制度となる年金信託、不動産の有効活用方法である土地信託、自営業者の年金制度である国民年金基金など7つの業務を取扱っております。 |
| 会員制総合経営支援サービス「いばぎんふれい倶楽部」 | インターネットを活用した有料会員制総合サービスです。サービスとして、①専門家等に相談できる経営相談室「いばぎんビジバ」の提供、②企業との商談の場を提供する「ビジネス交流会」の開催、③経営に直ぐ役立つ「経営セミナー・講演会」の開催、④経営情報を配信する「ビジネス情報」の提供を用意しております。 |

◆ 各種サービス

◎ 各種サービスのご案内

当行では、お客さまの生活向上の一助となれるよう、今後とも更に新しい商品、より便利なサービスの開発を進めながら幅広いトータルバンキングの提供を目指しております。

平成19年1月4日現在

| サービスの種類 | 内容 |
|-------------------------------|---|
| エレクトロニックバンキングサービス (EB) | 通信回線を利用し、銀行がお客さまに対して提供するサービスです。 |
| ファームバンキングサービス (FB) | 銀行のコンピューターと企業のコンピューターや端末機 (パソコン等) を通信回線で結び、残高照会、資金移動などの金融取引を行うサービスです。また、総合振込、給与振込などデータの伝送を行う金融取引サービスです。 |
| ホームバンキングサービス (HB) | 銀行のコンピューターと家庭に設置された端末機 (多機能電話等) を通信回線で結び、資金移動、残高照会などの金融取引を行うサービスです。 |
| インターネット・モバイルバンキングサービス | お手持ちのパソコンや対応携帯電話をご利用いただき、インターネットからアンサーウェブを経由して、預金残高や資金移動などの金融取引を行うサービスです。なお、法人のお客さまはパソコンのみのお取り扱いとなります。 |
| デビットカードサービス | 加盟店の専用端末機と銀行のコンピューターを通信回線で結び、お客さまの商品代金等のお支払いをいばぎんキャッシュカードで決済するサービスです。また、toto (トト) デビット会員の方のご利用も可能です。 |
| 出退勤カードサービス | いばぎんキャッシュカードをタイムレコーダーに通すことにより就業時間の管理、給与計算、給与振込までサポートするサービスです。 |
| I-NET 資金サービス | 茨城県内に本店を有する金融機関が提携し、その店舗網を利用して、売掛金や授業料等を口座振替により回収するサービスです。 |
| キャッシュサービス (CSコーナー) | いばぎん本支店の自動機サービスコーナーのCD・ATM (現金自動設備) で、現金のお引出し・お預け入れができます。また、駅・スーパーなどの店舗外のいばぎん現金自動支払いコーナーでもご利用いただけます。 |
| 全国キャッシュサービス (MICS) | 都市銀行・地方銀行・第二地方銀行協会加盟行・信託銀行などのMICSのマークのある全国の金融機関の本支店で当行のキャッシュカードで現金のお引出しができます。 |
| I-NETキャッシュサービス | 茨城県内に本店を有する金融機関が設置する全てのCD・ATM (現金自動設備) で当行のキャッシュカードで現金のお引出しができます。 |
| キャッシュサービスの郵貯提携 | 全国の郵便局に設置されたCD・ATM (現金自動設備) で当行のキャッシュカードで現金のお引出し・お預け入れができます。お取引状況によって提携手数料が月3回分までキャッシュバックされます。 |
| キャッシュサービスのセブン銀行提携 | 全国のセブンイレブン、イトーヨーカドーに設置されたATM (現金自動設備) で、当行のキャッシュカード・ローンカード (法人カード、事業性ローンカードを除く) で、現金のお引出し・お預け入れができます。 |
| 給与振込サービス | 毎月の給料やボーナスがご指定の預金口座に自動的に振り込まれます。 |
| 自動支払サービス | 電気料、電話料などの公共料金をはじめ、税金、各種クレジットカード代金、各種ローン返済金などを自動的にお支払いいたします。 |
| 自動受取サービス | 一度の手続きで、各種年金や会社からの配当金をご指定の口座に自動的に振り込まれます。 |
| 自動積立サービス | 毎月ご指定の口座からご契約の積立預金へお振り替えいたします。 |
| 代理業務 | 日本銀行歳入代理店及び国債代理店業務、地方公共団体の公金取扱業務などの代理店業務、中小企業金融公庫、国民生活金融公庫、住宅金融公庫などの代理貸付業務を行っています。 |
| 貸金庫 | 証券、株券、権利証、貴金属などの重要書類や貴重品を安全にお預かりするサービスです。 |
| 夜間金庫 (ナイトデポジット) | 銀行の閉店後や休日にも売上金などの現金を専用金庫でお預かりするサービスです。 |
| カード会社のキャッシングサービス | JCB・UC・VISA・DC・ダイナース・UFJニコス・オリコ・オリックス・ジャックス・トヨタファイナンス・イオン・オーエムシーカード・武富士・プロミス・アイフル・GECF・CFJ各社のカードによるキャッシングサービスが受けられます。 |
| 学費等の口座振替収納サービス | 授業料、給食費、PTA会費などの学費を保護者の口座から学校の口座へ自動的に振替収納いたします。 |
| 社内キャッシュサービス (企業内) | 企業内に設置したCDで現金のお引出しができます。 |

◆ 手数料一覧

平成19年1月4日現在

◎ 振込手数料

(消費税込み)

| | | お振込金額3万円未満 | お振込金額3万円以上 |
|--------------------------------------|---------|------------|------------|
| 窓口ご利用の場合 | 同一店内あて | 315円 | 525円 |
| | 当行本支店あて | 315円 | 525円 |
| | 他行あて | 630円 | 840円 |
| ATMご利用の場合 (当行キャッシュカード) | 同一店内あて | 105円 | 105円 |
| | 当行本支店あて | 105円 | 210円 |
| | 他行あて | 315円 | 525円 |
| ATMご利用の場合 (現金・提携金融機関 キャッシュカード) | 同一店内あて | 105円 | 210円 |
| | 当行本支店あて | 105円 | 315円 |
| | 他行あて | 420円 | 630円 |

◎ 小切手帳・手形帳関係手数料

(消費税込み)

| | | 金額 |
|------------|-----------|--------|
| 署名判印刷 | 1先 | 5,250円 |
| 小切手帳 | 1冊(50枚) | 1,575円 |
| 約束手形帳 | 1冊(50枚) | 2,100円 |
| マル専口座開設手数料 | 割賦販売通知書1枚 | 3,150円 |
| マル専手形用紙代 | 1枚 | 525円 |

◎ 代金取立手数料

(消費税込み)

| | | 金額 |
|----------|--------|------|
| 同一手形交換所内 | 1通 | 210円 |
| 当行本支店あて | 1通 | 420円 |
| 他行あて | 普通扱 1通 | 630円 |
| | 至急扱 1通 | 840円 |

◎ その他の手数料

(消費税込み)

| | | 金額 |
|----------|-----------|---------|
| 貸金庫 | 小型(年額) | 7,560円 |
| | 中型(年額) | 8,820円 |
| | 大型(年額) | 11,340円 |
| | リモコン型(年額) | 8,820円 |
| セーフティバック | 年額 | 8,820円 |
| 夜間金庫使用料 | 月額 | 10,500円 |

◎ 発行・再発行手数料

(消費税込み)

| | | 金額 | |
|-----------|------------|---------|--------|
| 通帳・証書の再発行 | 1枚(1冊) | 1,050円 | |
| カードの再発行 | 1枚 | 1,575円 | |
| 自己宛小切手 | 1枚 | 525円 | |
| 融資見込証明書 | 1通 | 21,000円 | |
| 残高証明書 | 1通 | 525円 | |
| | お客さまご指定の書式 | 1通 | 1,050円 |
| | 監査法人ご指定の書式 | 1通 | 3,150円 |

◆ ATMサービスのご案内

● ATM365日稼働

正月三が日およびゴールデンウィーク中も含めて365日ATMがご利用いただけます。(一部稼働していない店舗がございます。詳しくは、P48以降の店舗網のご案内を参照願います。)

● セブンイレブンでもいばぎんのカード

全国のセブンイレブン、イトーヨーカドーに設置されたATMで、いばぎんのキャッシュカード、ローンカード(法人カード、事業性ローンカードを除く)がご利用いただけます。(お引出し、お預け入れ、残高照会)

● 郵便局でもいばぎんキャッシュカード!

いばぎんキャッシュカードなら、全国の郵便局のATMでご利用いただけます(お引出し・お預け入れ・残高照会)。また、郵便局のATMを利用した場合、給与振込(5万円以上)・年金振込のあるお客さまには、月3回まで時間外手数料を除くご利用手数料(105円)をキャッシュバックしております。



| ご利用日・ご利用時間 | ご利用手数料 | 給与・年金振込有 | 内 訳 |
|-------------------|--------|----------|------------------------|
| 平日 8:45~18:00 | 105円 | 無料 | 他行提携手数料 |
| 平日 8:00~ 8:45 | 210円 | 105円 | 他行提携手数料 + 時間外手数料 |
| 土・日・祝日 9:00~17:00 | | | |

● キャッシング提携サービス

いばぎんでは17社(UFJニコス・JCB・UC・VISA・DC・ダイナース・オリコ・オリックス・ジャックス・トヨタファイナンス・イオン・オーエムシーカード・武富士・プロミス・アイフル・GECF・CFJ)と提携しており、当行ATMでキャッシングサービスが受けられます。

☒ ATMサービスのご案内

| | 平 日 | | | 土曜日・日曜日・祝日 |
|----------------|-----------|------------|-------------|------------|
| | 8:00~8:45 | 8:45~18:00 | 18:00~21:00 | 9:00~17:00 |
| お 引 出 し | ● | ○ | ● | ● |
| 残 高 照 会 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| お 振 込 み (注1,2) | ● | ○ | ● | ● |
| お 預 け 入 れ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 定 期 預 金 作 成 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 当 座 預 金 入 金 | ○ | ○ (注3) | — | — |
| 通 帳 記 入 | ○ | ○ | ○ | ○ |

○：無料でお取引できます。 ●：有料(105円)でのお取引となります。 —：お取引できません。

注1. お振込みには、別途手数料がかかります。

注2. 午後3時以降のお振込みは予約扱いとなり、翌営業日にお振込みとなります。

注3. 当座預金の入金、午後3時までのお取り扱いとなります。

● いばぎんキャッシュカードでお買い物

キャッシュレス時代の支払手段として注目を集める「デビットカードサービス」。いばぎんキャッシュカードなら、加盟店でそのままデビットカードとしてご利用いただけます。ご利用代金はすぐに預金口座から引き落とされる即時決済ですので、現金払いと同じ感覚でご利用いただけます。

● 硬貨の入出金・通帳繰越ができます

入出金とも硬貨のお取扱いができます(9:00~15:00)。また、ATMでの通帳自動繰越も、ご利用いただけます。

● 定期預金の作成および解約

いばぎんのATMでは定期預金のお預け入れ、解約ができますので、お仕事帰りにもお気軽にご利用いただけます。

● キャッシュカード犯罪防止のための取組み

ATMを利用した犯罪の防止対策として、お客さまが安心してキャッシュカードをご利用いただけるよう様々な対応を行いました。

- 覗き見防止フィルターの取り付け
- 後方確認ミラーの設置
- ATMでの暗証番号変更
- 現金引出し限度額の引き下げ
1日200万円を50万円に引き下げ
- 振込み限度額の引き下げ
1日500万円を100万円に引き下げ
- 自動機監視センター(029-227-3816)で24時間事故受付

役員・組織図

平成19年1月4日現在

役員

| | | | | |
|------------------|--------|-------------|--------|--------|
| 取締役頭取 (代表取締役) | 川嶋 烈 | 取締役 | 立原 和 則 | 経営管理部長 |
| 専務取締役 (代表取締役) | 中島 昭 義 | 取締役 | 植木 誠 | 審査部長 |
| 専務取締役 (代表取締役) | 溝田 泰 夫 | 監査役 (常勤) | 杉山 誠 | |
| 常務取締役 | 伊藤 裕 史 | 市場資金部長 | 長山 頼 興 | |
| 常務取締役 | 中澤 民 雄 | 総合企画部長 | 林 博 義 | |
| 取締役 | 豊崎 寛 | | | |

組織図

平成19年1月4日現在
(本部8部 28グループ)

